

## 事後評価結果（平成17年度）

担当課：三重県県土整備部道路整備室  
担当課長名：松田 肇

<b>事業名</b>	国道368号 <sup>うえのなばり</sup> 上野名張バイパス		<b>事業区分</b>	道路事業	<b>事業主体</b>	三重県
<b>起終点</b>	自：伊賀市菟蒲池 至：名張市蔵持		<b>延長</b>	9.4 km		
<b>事業概要</b>	国道368号は、三重県伊賀市を起点として多気郡多気町に至る延長7.9 kmの道路です。伊賀市と名張市を結ぶ幹線道路である。当道路は、両市の発展に伴い交通量が急激に増大し渋滞が発生していた。また、現道は集落内を通過し幅員が狭い上、歩道がなく安全な交通に支障を来し、地域住民の生活をおびやかしていた。そこで、これらの解消を図るため延長9.4 kmの4車線のバイパスとして計画し、暫定2車線整備で事業を実施するものである。					
<b>事業の目的・必要性</b>	伊賀地域の主要都市である伊賀市と名張市の交通混雑を解消し両市の連携を強化することで、幹線道路ネットワークを確保し地域社会の発展に寄与する。また、災害時における救助・救援及び物資の供給に必要な緊急輸送用道路の確保を図ることを目的としている。					
<b>事業概要図</b>						
<b>事業の効果等</b>	<b>事業期間</b>	事業化年度：S54年度 都市計画決定：S53年度	用地着手：S54年度 工事着手：S54年度	供用年：(当初) H11/未 (実績) H11/未	変動	倍
	<b>事業費</b>	計画時 (名目値) 144 / 未億円 (暫定/完成) (実質値) 227 / 未億円	実績 (名目値) 144 / 未億円 (暫定/完成) (実質値) 227 / 未億円		変動	倍
	<b>交通量</b> (当該路線)	計画時 (暫定/完成) 20,610 / 未台/日	実績 (暫定/完成) 18,349 / 未台/日		変動	%
	<b>旅行速度向上</b> (供用前現道 当該路線)	18 31 km/h (供用直前年次) H11年度 (供用後年次) H12年度	<b>交通事故減少</b> (供用前現道 供用後現道)	456 429 件/台/キロ (供用直前年次) H11年度 (供用後年次) H12年度		
<b>費用対効果分析結果 (当初)</b>	B / C : 実施せず	総費用 : 億円 事業費 : 億円 維持管理費 : 億円	総便益 : 億円 走行時間短縮便益 : 億円 走行経費減少便益 : 億円 交通事故減少便益 : 億円	基準年 : 年		
<b>費用対効果分析結果 (事後)</b>	B / C : 17.0	総費用 : 234億円 事業費 : 227億円 維持管理費 : 7億円	総便益 : 3,977億円 走行時間短縮便益 : 3,897億円 走行経費減少便益 : 69億円 交通事故減少便益 : 11億円	基準年 : H17年		
<b>事業遅延によるコスト増</b>	-	費用増加額 : 億円	便益減少額 : 億円			
<b>事業遅延の理由</b>	なし					
<b>客観的評価指標に対応する事後評価項目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保・・・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善</li> <li>国土・地域ネットワークの構築・・・日常活動圏中心都市である伊賀市～名張市間の所要時間の短縮</li> <li>都市の再生・・・名張都市計画において近鉄桔梗が丘駅付近の都市計画道路に位置づけ</li> </ul> <p style="text-align: right;">他3項目に該当</p>					
<b>その他評価すべきと判断した項目</b>	特になし					

事業 に よ る 環 境 変 化	環境影響評価に対応する項目 ----- 本県の環境影響評価条例（平成11年6月施行）以前完了の事業であるため環境アセスメントを実施 しておらず、事業着手時の希少種等の生物に関する調査を実施していない。しかしながら、開通後の平 成14年度の三重県環境森林部が行ったバイパス近隣での動植物調査において、ギフチョウ、オオタカ、 タガメ、メダカ、サンショウウオ、キキョウなどの希少種の生息が確認されていることから当事業によ る自然環境への影響は少ないと判断している。
	その他評価すべきと判断した項目 ----- 特になし
事業を巡る社会経済情勢等の変化 ----- 名張市の人口の増大(4万4千人(S55) 8万3千人(H15)) 製造品出荷額(2千億円(S55) 5千6百億円(H1 5))と急激な人口増・産業発展が進んでいる。	
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ----- 審査の結果事後評価の妥当性が認められたことから課題に対する対応方針の了承が得られた。また意見とし て今後の事後評価については、周辺住民もアンケートの対象にされたい。また、道路の4車線計画に変わる 3車線の効率的な運用も検討されたいとの意見を付された。	
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 ----- 委員会より歩行者などの周辺住民などの意見もアンケート調査するよう意見が付されたため、今後は周辺住 民も対象にアンケートを実施する。	
特記事項 ----- 特になし	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。